



### 子宮頸がん予防ワクチン（HPV ワクチン）の接種について

9 価の「HPV ワクチン」を公費で接種できるようになりました。

定期接種対象者及び積極的勧奨差控えにより接種機会を逃した方（キャッチアップ対象者）に令和 5 年 4 月より、9 価の「HPV ワクチン」を公費で接種できるようになったことを周知し、接種を促すもの。

#### ■ 内容説明

##### ◇ 9 価の HPV ワクチンとは

子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を防ぐワクチンです。

ヒトパピローマウイルス（HPV）にはいくつかの種類（型）があり、9 価ワクチンは、この 9 種類の HPV の感染を防ぐワクチンです。その中でも、子宮頸がんの原因の 80～90%を占める、7 種類の HPV の感染を予防することができます。

#### ■ 対象者

##### ① 定期接種

中学 1 年生～高校 1 年生に相当する年度の 3 月 31 日までの間にある女子

（予防接種法上では、小学 6 年生から高校 1 年生の女子）

※但し、積極的勧奨を差し控えていた期間を考慮し、平成 19 年 4 月 2 日～平成 20 年 4 月 1 日生までの方は、令和 7 年 3 月 31 日まで接種可能。

##### ② キャッチアップ接種

平成 9 年 4 月 2 日～平成 19 年 4 月 1 日までの間に生まれた女性で、過去に HPV ワクチンの接種を合計 3 回受けていない方

※公費で接種できるのは令和 7 年 3 月末まで。（接種機会を逃した方への時限措置）

#### ■ 予防接種予診票（接種券）の発行

定期接種対象者については、新中学 1 年生女子に個別通知（4 月に郵送）。

平成 9 年 4 月 2 日～平成 22 年 4 月 1 日生の未接種の方については、令和 4 年 4 月に予診票を郵送済み。（1 回目接種をまだ受けていない方には、再度 4 月に案内を郵送）

# 小学校6年～高校1年<sup>相当</sup>の女の子と保護者の方へ

令和5(2023)年4月より

## 9価の「HPVワクチン」を 公費で接種できるようになりました

「子宮頸がん」で苦しまないために、今からできることがあります



### Q 「HPVワクチン」とはなんですか？

A HPVワクチンは、子宮頸がんの原因となる、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンです。HPVワクチンには、9価のワクチンのほかに、2種類のワクチン(2価のワクチン、4価のワクチン)があります。どのワクチンを接種するかは、医師にご相談ください。

### Q 9価のHPVワクチン(9価ワクチン)とは、どのようなワクチンですか？

A HPVにはいくつかの種類(型)があり、9価ワクチンは、このうち9種類のHPVの感染を防ぐワクチンです。その中でも、子宮頸がんの原因の80～90%を占める、7種類のHPV<sup>\*</sup>の感染を予防することができます。

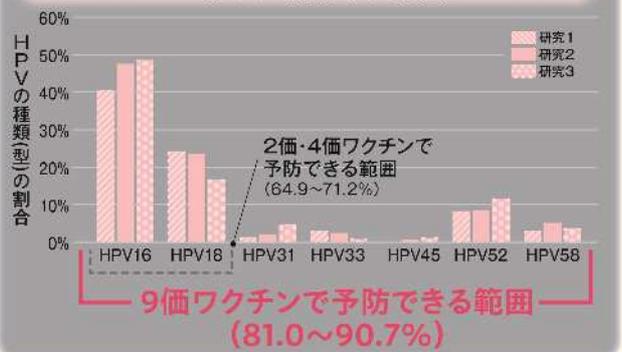
<sup>\*</sup>16型、18型、31型、33型、45型、52型、58型

### Q 9価ワクチンの接種後に副反応はありますか？

A 9価ワクチンの接種後には、右表の副反応が起こることがあります。

接種後に体調の変化や気になる症状が現れたら、まずはワクチンを受けた医療機関などの医師にご相談ください。

日本人女性の子宮頸がんにおけるHPVの種類(型)の割合と、ワクチンで予防できる範囲



9価トプバローマウイルス(HPV)ワクチンシフトシート(国立感染症研究所)をもとに作成  
 図表1: Chikui M., et al. (2009): Cancer Sci. 100(7): 1372-1376. 図表2: Azuma, Y., et al. (2014): Jpn. J. Clin. Oncol. 44(10): 910-917. 図表3: Sakamoto, J., et al. (2018): Papillomavirus Res. 6: 46-51.

### 接種後に現れる可能性のある症状

発生頻度	報告されている症状
50%以上	疼痛(痛み)*
10～50%未満	腫脹(腫れ)*、紅斑(赤み)*、頭痛
1～10%未満	浮動性めまい(頭がぼーっとしてふらつく感覚)、悪心、下痢、そう痒感(かゆみ)*、発熱、疲労、内出血*など
1%未満	嘔吐、腹痛、筋肉痛、関節痛、出血*、血腫*、倦怠感(だるさ)、硬結*など
頻度不明	感覚鈍麻(刺激に対して感覚が鈍い状態)、失神、四肢痛など

シルガード<sup>®</sup>9 添付文書(第1版)より改編

\*ワクチンを接種した部位の症状

## あなたと関係のある“がん”があります

- 子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約2,900人の女性が子宮頸がんによって亡くなっています。
- また、若い年齢層で発症する割合が比較的高いがんです。患者さんは20歳代から増え始め、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。日本では、25～40歳の女性のがんによる死亡の第2位は、子宮頸がんによるものです。
- HPVの感染を防ぐことで、将来の子宮頸がんを予防できると期待されていますが、ワクチンで防げないHPV感染もあります。子宮頸がんを早期に発見し治療するため、20歳になったら、2年に1回、子宮頸がん検診を受けることが大切です。

9価ワクチンについてのより詳しい情報は、こちらをご確認ください。



子宮頸がんやHPVワクチン(2価、4価ワクチンを含む)についてのより詳しい情報は、こちらをご確認ください。

